

総合問題（後期日程）の出題意図と解答例

I. 出題意図

一般選抜学生募集要項記載のアドミッションポリシーにおいて、本課程の選抜方針は「緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力を持ち、同時に、美や造形に関心を持ち、行動力と協調性があり、自らも表現することに熱意のある人を求めます。」であり、求める能力・適性を「論理的思考能力、美しいものに対する感受性、人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、新しい可能性に向けての創造力、チャレンジ精神と行動力、コミュニケーション能力と協調性」としている。また、個別学力検査の「総合問題」は、「提示されたデザイン・建築・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力およびそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。」とある。これらのアドミッションポリシーに従い、この総合問題では、本課程において求められる役割の中で「安全性」、「アクセシビリティ」を題材とし、社会にとっての安全なデザイン・アクセシブルデザインについて、理解し、自分の考えをまとめて表現することを問う問題とした。この問題は、「人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、論理的思考能力と表現力、創造力」を問う事ができると考えた。具体的には、以下のとおりである。

II. 各問の出題意図と解答または解答例

〔問題Ⅰ〕では、幼児のベランダからの転落事故について、事故が起こるまでの状況と要因を理解・分析し、その内容を自らの言葉で表現し、図解説明できる能力を問う問題である。問1では、「人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、論理的思考能力」を検査することを意図し、転落事故が発生するまでの状況と事故発生要因を抽出する問題とした。解答では、①各自が想定した状況において、事故が発生するまでの過程を矛盾なく説明できていること、②事故が発生する条件を、不足なく適切に抽出できていること、を評価した。問2では、「論理的思考能力と表現力、創造力」を検査することを意図し、問1で抽出した要因をフロー図等で表現し、表現能力および他者へのプレゼンテーション能力を検査する問題とした。解答では、①事故が発生するまでの流れを、必要な情報をフロー図等で表現できていること、②他者が理解しやすいように工夫、配慮されていること、を評価した。

〔問題Ⅱ〕では、「論理的思考能力」や「バランスのとれた学力」を検査するため、『アクセシブルデザイン 高齢者・障害者の知覚・認知特性に配慮した人間中心のデザイン』（株式会社エヌ・ティー・エス）における「アクセシビリティ」「アクセシブルデザイン」に関する文章から、理解する能力と日頃からの社会への関心を測る問題とした。

問1は、本文の内容を的確に理解しまとめ、記述する「論理的思考能力」を問う設問である。解答例は次の通りである。

20 世紀後半の社会は、電子技術の革新により製品の性能は向上したが、一方で、国や地域、文化、性別や年齢の差、高齢者や障害者などへの配慮が足りず、開発された製品に不便さや不利益を受ける人々が現れたこと。

問2は、「バランスのとれた学力」を検査するため、英語の知識を問うた。解答例は次の通りである。

年齢、サイズ、能力にかかわらず、すべての人々が幅広いシステム（製品、環境、サービス）を利用しやすくなることは、社会全体の重要な目標である。システム（製品、環境、サービス）へのアクセシビリティ（利便性、アクセスしやすさ）とユーザビリティ（使い勝手のよさ）の問題は、多様なユーザーアクセシビリティ（利用者の利便性）を必要とする（求める）人々（高齢者、子供、能力が低下した者、障害者など）が増すにつれ、より重要になってきた。

問3は「社会的な課題について、工学的・経済的・文化的に理解し、自分の考えをまとめる能力」「社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力」を検査することを意図している。「アクセシブルデザイン」とは何か（解答例①）の問いからは、読解力と簡潔にまとめる力、そして、「身近な例」からは、社会に対する洞察力、文章として説明する表現力を評価した。

「身近な例」については、一義的又は標準的な解答例が示せない試験問題であるため解答例は示していない。

①「アクセシブルデザイン」とは、多様性に満ちたこの世界において、製品・環境・さらにサービスなどを高齢者や障害者を含むより多くの人々にアクセシブルになるように、つまり、利用しやすく、使いやすくなるようにデザインしようという考えである。

Ⅲ. 出典

1. 五藤隆介 著『チューブ生姜適量ではなくて1cmがいい人の理系の料理』秀和システム（2015）
2. ハウス食品 ジャワカレー パッケージ裏面
https://housefoods.jp/products/catalog/pkg_1,087590.html?bk=cd_1%2C087590%2CcurCc%2CrCro%2Cjava.html1（2020年10月6日参照）
3. 独立行政法人情報処理推進機構 平成23年 秋期 応用情報処理技術者試験 午後問題 p. 28
4. 佐川賢、倉片憲治、伊藤納奈 著『アクセシブルデザイン高齢者・障害者の知覚・認

知特性に配慮した人間中心のデザイン』株式会社 エヌ・ティー・エス (2019)

5. ISO/IEC Guide 71:2014 (en) Introduction

<https://www.iso.org/obp/ui/#iso:std:iso-iec:guide:71:ed-2:v1:en> (2020年10月6日参照)